

令和3年度(2021年度)学力向上推進事業 第1回組織力強化会議を終えて

発行：釧路教育局教育支援課義務教育指導班

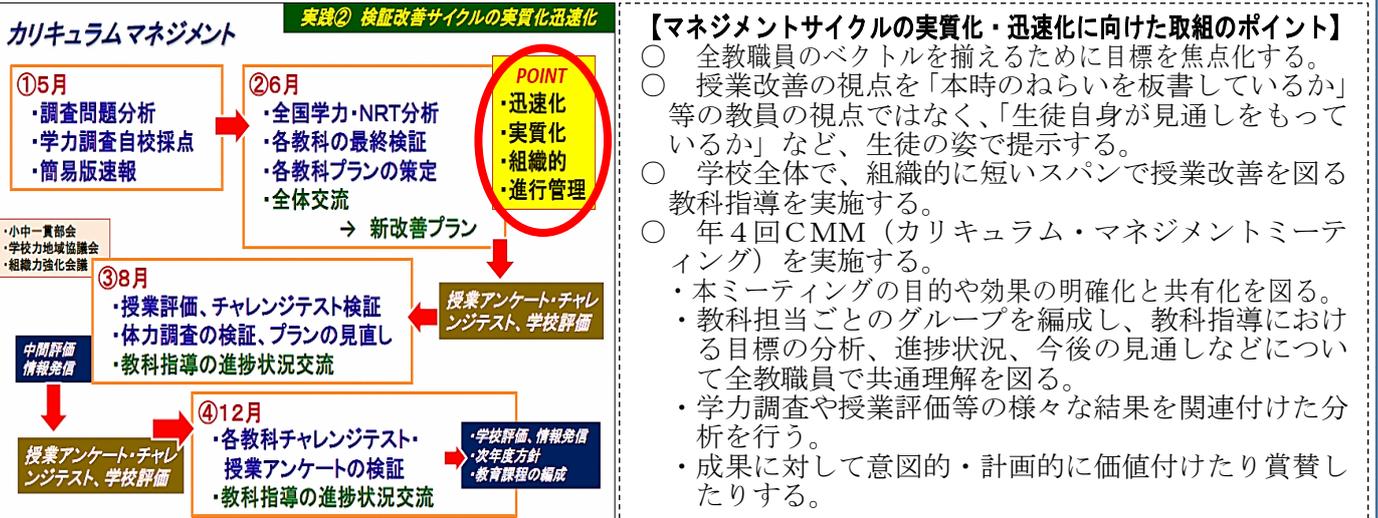
令和3年7月15日(木)、今年度の「管内学力向上ロードマップ」に基づき、管内の学力向上に向けた取組の方向性について共通理解を図るとともに、管理職のリーダーシップによる校内の組織体制や検証改善サイクルの確立を図ることを目的に、第1回組織力強化会議を開催しました。

本会議における実践発表の内容等について紹介します。



実践発表：「マネジメントサイクルの実質化・迅速化と人材育成」

講師：北広島市立東部中学校 北村 安雄 校長先生



【人材育成に向けた取組の具体】

- 学校設定目標に「若手の人材育成」を位置付け、学校全体で若手を育てる手立てを構築する。
- 中堅教員による若手教員育成の機会を設定する。
- CMMにおいて初任段階教員が学力調査の分析を行い、共有する。
- 若手教員が学校全体で取り組む組織的な教育課程の編成やカリキュラム・マネジメントを経験する。
- NITSの動画コンテンツを活用した20分程度の校長室研修を実施する。
 - ・複数の若手教員及び中堅教員で実施
 - ・若手教員の感想発表及び感想への中堅教員から助言
 - ・校長通信による発表及び助言内容の全体共有
- 期限付き教諭への中堅教員等による面接指導を実施する。



協議における参加者の意見・感想

- 「グランドデザインを中学校区の全教職員の声を尊重し、作成したい」という言葉が印象的でした。自校でも校区で話し合い、それらを踏まえて学校経営方針を構築する必要性を理解することができました。
- 検証改善サイクルの実質化・迅速化に向けて、「速く」「分かりやすく」を意識し、学校全体の組織的な取組につなげることが大切であると感じました。
- 本校においても、会議等を実施する際は、会議等のねらいを明確にして共有し、教員が「取り組んでよかった」と実感できるようにする必要があると感じました。
- 校内の組織体制の確立に向けて、個々の教員の取組を組織的な取組へと高めるための具体的な方策を検討することが大切であると思いました。
- 今後、人材育成に係り、若手教員の育成を通してミドルリーダーを育成するという手法を取り入れていきたいです。
- 授業改善の視点では、教員がどのような取組をしたかではなく、生徒に何が身に付いたのか、生徒は何かができるようになったかなど、生徒の姿で示す必要性を理解することができました。
- NITSの動画コンテンツを活用した校長室研修を、本校でも実施したいと思いました。特に、若手教員の感想発表及び中堅教員からの助言など、各教員が学んだことをアウトプットする機会を意図的・計画的に位置付けることが参考になりました。